

アナフィラキシー症例に関する実態調査の研究

1. 研究の対象

2023年1月1日～12月31日に高知大学医学部附属病院小児科を受診された12歳以上のアナフィラキシー患者さん

2. 研究目的・方法

アナフィラキシーは重篤な全身性の過敏反応で、通常は急速に発現し、死に至ることもあります。しかし、日本における疫学調査の報告は稀であり、その実態について十分に明らかになっていません。そこで、今回、思春期、成人期を中心としたアナフィラキシーの実態を把握するため、日本皮膚免疫アレルギー学会主導で、日本アレルギー学会の協力を得ながら調査を行います。

2023年1月1日～12月31日に受診されたアナフィラキシー患者さんについて、年齢、性別、居住地域、既往歴、検査実施の有無とその内容、受診した診療科、確定診断の有無について、診療録から得た情報を集計し、その特徴を解析します。

調査実施期間は2024年1月1日～7月31日を予定しています。また、解析期間は、2024年8月1日～12月31日を予定しています。

研究期間は、研究実施機関の長の研究実施許可から2028年12月31日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、居住地域、既往歴、検査実施の有無とその内容、受診した診療科、確定診断の有無などについて、診療録から得た情報を集計し、その特徴を解析します。

4. 外部への試料・情報の提供

診療録から得られた情報は、参加施設(提供元)から昭和大学医学部皮膚学講座へ送付されますが、個人の氏名、生年月日、電話番号など個人を識別できる情報を削除して適切に取り扱います。また、それらの情報の解析は、研究分担施設(大阪医科薬科大学 医学部 感覚器機能形態医学講座 皮膚科学、関西医科大学医学部皮膚科学講座、京都府立医科大学大学院医学研究科皮膚科学、日本大学医学部皮膚科学系皮膚科学分野、広島大学大学院医系科学研究科皮膚科学)とともに実施しますが、各施設においても情報を適切に取り扱います。

5. 研究組織

研究代表者

日本皮膚免疫アレルギー学会 蕁麻疹・肥満細胞専門部会部会長
昭和大学医学部皮膚科学講座 猪又直子

研究分担施設

- ・大阪医科薬科大学 医学部 感覚器機能形態医学講座 皮膚科学
研究責任者 准教授 福永 淳
- ・関西医科大学医学部皮膚科学
研究責任者 教授 谷崎英昭
- ・京都府立医科大学大学院医学研究科皮膚科学
研究責任者 准教授 益田浩司
- ・日本大学医学部皮膚科学系皮膚科学分野
研究責任者 助教 葉山惟大
- ・広島大学大学院医系科学研究科皮膚科学
研究責任者 講師 高萩俊輔

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

高知県南国市岡豊町小蓮

088-880-2355

研究責任者:高知大学医学部小児思春期医学教室 大石 拓

研究代表者:昭和大学医学部皮膚科学講座 猪又 直子